



校報

わきいち

和合協力 気力体力 意志強固 知識探求 創立 明治8(1875)年7月15日

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TLE 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

HP www2.namahage.ne.jp/~wakiichi

学校行事、あればこそ

校長 佐藤 和久

◆「敬老の日には、健康を贈ろう。」俳優・新垣由衣さんの微笑む広告を某M社が新聞に掲載しました(2020.9.21付『朝日新聞』)。高カカオチョコレートが、動脈硬化や認知機能にかかわる生体指標を改善するという研究結果が踏まえられているようです。ともあれ、脇本地区の敬老祝賀会が見送られた中ではありますが、人生の大先輩である地域の皆様の長寿を心からお祝い申し上げます。(今年度の1年生からメッセージを直接届けられず残念です)

◆広告(CM)と言えば、私には、忘れられないテレビCMがあります。その一つが、1977年に某C社が出した「ポテトチップスうすしお味」のCMです。「百円でC…ポテトチップスは買えますが、C…ポテトチップスで百円は買えません。悪しからず。」とタレント・藤谷美和子さん(当時14歳)がおどけた表情で話すキャッチフレーズも話題となり、ポテトチップスは手軽なスナック菓子として広がりました。大学入試には、このキャッチフレーズの経済学的な説明を求める問題が出されたと聞いています。ここでは、市場経済における商品と信用通貨との関係性の視点から解答が求められているようです。手段と行為の対象が入れ替わることで、前後の文の真意が際立つこともこのフレーズから読み取れます。勿論、当時中学生だった私には、理屈抜きでこのCMが面白く、初めて口にするポテトチップスなるものの味と食感に魅了させられたものでした。

◆「運動会で思い出は作れますが、思い出で運動会は作れません。」と某C社のCM風にキャッチフレ



創立145周年 脇一小大運動会:2・5年の趣向走「コロコロゴロリン」

ーズを考えてみます。先月の大運動会は、今年度初の多くの皆様に観られる全校の学校行事でした(2面に詳細)。各チームを牽引したり、誓いの言葉や挨拶を堂々に行ったりする最上級生の姿は、今年も下級生の範となりました。子どもたちには、運動会で忘れられない思い出ができたことでしょう。ここでも手段と行為の対象が入れ替わることで、前後の文の真意が際立ってきます。新しい思い出は、運動会の開催なしでは作ることができなかったからです。

◆6年生からは、「修学旅行で思い出は作れますが、思い出で修学旅行は作れません。」と11月の実施を待ち望む声も聞こえてきそうです。旅行の目的を忘れず、旅行内容と旅行中の健康・危機管理等、言わば旅行の「品質」を十分吟味して進めたいと思えるほどに香りが引き立ち、味わい深くなる、そんな修学旅行を通して思い出が作られるように。

知識・技能

★各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。また、理解を伴った知識を基に、他の場面でも応用できる知識・技能の習得状況を評価します。〈評価の着目点…授業での様子、ペーパーテスト、ノート、各教科等の特性に応じた実技テストや作成物等〉

思考・判断・表現

★各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。自分の考えを表現させたり、問題解決的学習で最適な答えを思考・判断させたりする等の学習場面を通して評価します。〈評価の着目点…授業での様子、ペーパーテスト、ノート、作成物等を総合的に判断します。〉

主体的に学習に取り組む態度

★知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、その粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする二つの側面から評価します。学習の進め方について試行錯誤する等の調整をしながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。〈評価の着目点…授業での様子、ノート等。挙手の回数や毎時間ノートを書いているか等、性格や行動面の一時的に表出された場面を捉えての評価ではありません。〉

★通知表「あゆみ」と学習評価の観点等について
学校での子どもが生活の様子をお伝えし、学校と家庭が協働しながら子どものよさや可能性を伸ばすことを目的としています。
新しい学習指導要領では、各教科等の学習の目標及び内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱で再整理され、「主体的・対話的で深い学び」の視点も重視されています。
このことを踏まえ、各教科等の学習評価の観点も踏まえ、3つの視点も整理しています。
内容が一部変更になります。





運動会

わきいっこ き合いじゅう分!! いっしょにみんなであらう点目指せ ～明るい未来へ よーい ドン!～

コロナ禍で5月から延期されていた運動会が9月17日(木)に午前開催で行われました。夏休み明けの猛暑と降雨に悩まされ、練習が思うようにはできませんでした。しかし、6年生を中心に各伝統のマスゲーム「脇一の花」 チームと各学年で集中して練習してきました。雨が上がったグラウンドには、元気に躍動する全校129名の子どもたちの姿があり、脇一っ子の素晴らしさを今年も見ることができました。

最後に、「学校の新しい生活様式」での観戦にご協力いただきありがとうございました。また、PTA保体部員と校外指導部員等の皆様には、準備・運営面で大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

★ 総合成績 ★

- 1位 青組
- 2位 赤組
- 3位 白組



よーい ドン! 決戦: 6年女子100メートル走

帰宅時刻が変更! 「学校では、午後5時には家に入っているように指導しています。」

お願い

★日没時刻が早くなり、先月25日から子どもたちの帰宅時刻を午後5時に変更しています。暗くなってから子どもだけで出歩かないよう、保護者やご家族、地域の皆様の声かけをお願いします。

引き渡し訓練! 震度5以上の地震を想定

本校では、子どもたちによる下校が困難な事態が発生した場合には、保護者の皆様等に来校していただき、子どもたちの引き渡し・引き取りを行うこととしています。近年では、熊の出没によるケースがありました。今回は地震・津波の発生を想定した避難訓練の実施後、引き渡し・引き取り訓練を行いました。備えあれば、憂い無しです。



「さあ、お迎えに来たわよ!」

防災! 災害は忘れないうちにやって来る

4年生による男鹿市役所総務課の危機管理室と津波避難タワー等の社会科見学がありました。市職員の方々から、危機管理室の役目・取組や災害への心構えなどについて教えていただき、防災無線放送の体験をさせていただきました。さらに、街中にある防災関連の標識の発見や津波避難タワーへの登頂から、防災意識を新たにしました。



「こちらは、防災おが広報です!」

収穫の秋! 畑の枝豆はつぶぞろい

夏から秋にかけ、各学年の畑からはジャガイモやトマトの収穫が続いています。9月上旬には、5年生による枝豆の収穫が行われました。早速、家庭科室で茹で上げた枝豆の味は格別だったとか。ただ、春から挑戦していたバケツ稲の生育は、残念ながら良とはならなかったようです。水の管理を始め、米づくりの難しさが分かったようです。



「手際よく枝豆を採るぞ!」

お久しぶり! ピーチクラブさんの読み聞かせ

待ちに待ったピーチクラブの皆様による読み聞かせが行われました。今年度は、3密を回避するために、これまでの各教室で学団単位で実施する形態から、学年単位で実施する形態に変えています。今回聞くことのできなかった半分の学年は、次回にお預けになっていますが、朝から絵本の世界に入り込んでいる子どもたちの何と多いことか。



「みんなに会うの、楽しみだったわ!」

〈コミュニティ・スクール通信〉 第3回学校運営協議会を開催 ～授業参観・懇談・給食試食～

9月7日(月)に第3回学校運営協議会(三浦進会長)が委員全員の出席のもと開催されました。猛暑の中で授業に臨む子どもたちと教職員の様子を参観していただきました。しかし、残念ながらコロナ禍で子どもたちと対面しての会食ができないため、給食の試食を音楽室で行いました。懇談会では、参観授業を含めコロナ禍の中での学校の取組などについて次のような感想・意見をいただきました。

【主な感想・意見】 ●暑い中、学習に真剣に向かう子どもたちの姿が印象的だった。先生方の指導の充実ぶりがうかがわれる。 ●コロナ禍だからできないではなく、コロナ禍だからこそという視点から配慮しながら進めていくとよいという、発想の転換も必要なのではないか。 ●いこいの森プロジェクトも各施設等に発信し、学校の恵み(干し柿用の柿など)をそのままお届けするというスタイルで継続すれば、地域とのつながりも深まるのではないか。



「暑い中でも、学習に励んでいますね!」

授業研究会！ 学び合い、考えを深める子どもの育成 ～自ら学びをつなぐ授業づくり～

本校の教職員には、「学び合う楽しさを実現する教育活動の充実を図りながら、子どもたちに確かな学力を付けさせたい」とう願いがあります。今年度は、研究主題「学び合い、考えを深める子どもの育成～自ら学びをつなぐ授業づくり～」を掲げています。そして、子どもたちが、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、主体的に考え、話し合ったり、学び合いの成果を振り返り、再考することを通して、自らの考えを広げ深めたりしていけるよう授業づくりの研修を進めています。これまで、県教育庁中央教育事務所の指導主事等の指導者をお招きし、特別支援教育セミナーや理科・体育科・国語科の授業研究会を行いました。



4年理科の研究授業の様子



1年体育科の研究授業の様子



5年国語科の研究授業の様子

子どもたちの五七五… ♥ てっきゅうのようなクマバチすをおそう (2年 ○○○○さん) 蜂にはご用心!

- ♥ このあつさ水風船で遊ぼうか水をたっぷりパーンとわるよ (3年 ○○○○さん) 猛暑を凌ぐ遊び哉!
- ♥ 雨の朝心配するも開催だ「無理」とは言わず期待に応える (5年 ○○○○さん) 145周年の大運動会!
- ♥ バトンパス勝利のカギだアンカーの六年生に思いをたくす (5年 ○○○○さん) 接戦をものにしたのは何組?



おめでとう
ごぞいます♥



(敬称略)

★第16回男鹿市児童生徒理科作品展

◎銀賞 3年 ○○ ○○ 4年 ○○ ○○

5年 ○○ ○○

◎奨励賞 3年 ○○ ○○

★第16回男鹿市児童生徒発明工夫展

◎金賞 1年 ○○ ○○

◎銀賞 5年 ○○ ○○

★第40回記念全日本学童軟式野球マクドナルド・トーナメント代替男鹿市予選大会

◎準優勝 脇一野球少年団 決勝…脇一 2対6 船越

★第18回東北学童軟式野球新人秋田県大会出場

1回戦…脇一・湯西 10対12 鷹巣JBC

10月の学校行事予定

1日	木	学校安全日・各種点検日・危険箇所点検
2日	金	2年校外学習(男鹿駅・オガーレなど)
5日	月	委員会活動⑥、ALT学校訪問⑳
6日	火	委員会集会(担当:ボランティア委員会)
7日	水	クラブ活動⑩(最終)、照度検査
8日	木	全校ウォークラリー
9日	金	前期終業式、第4回学校運営協議会(熟議)
10日	土	秋季休業(~13日)
14日	水	後期始業式、全校4校時限・給食あり(研修会のため)
15日	木	市教委主催「男鹿市小・中学校再編計画保護者等意見交換会」
19日	月	あいさつ運動、ALT学校訪問㉑
21日	水	学習発表会予行
23日	金	学習発表会会場設営(1~5年は5校時限)
24日	土	創立145周年 学習発表会
26日	月	振替休業日
27日	火	6年薬物乱用防止教室
28日	水	チャレンジタイム①、マラソン大会
29日	木	ピーチクラブの皆様による読み聞かせ、全校3校時限・給食あり(来年度入学予定児童の就学時健診のため)
30日	金	ALT学校訪問㉒、なかよし清掃、マラソン大会予備日

11月の学校行事予定 (主なもの)

2日	月	【未定】5・6年ABS秋田放送読み聞かせ事業
6日	金	1・4年心電図検査、ALT学校訪問㉓
10日	火	特別支援教育研修会
11日	水	全校3校時限・給食あり(市郡教職員研修会のため)
12日	木	委員会集会(担当:健康委員会)
19日	木	6年修学旅行(~20日)
24日	火	男鹿市教育員会指導主事訪問

お知らせ Thank you グラウンド整備

- ★寒風 様
- ★吉政石材 様
- ★脇一野球少年団親の会の皆様
- ★橋本工務店 様
- ★天新工業 様



◆ 第4回学校運営協議会(熟議) 10月9日(金)17:00~18:00

◎「災害発生時の新型コロナウイルス感染症拡大防止への予防的な取組(仮)」について意見交流をしませんか。

◆ 創立145周年 学習発表会 10月24日(土)9:00~12:00

◎3密を避けるため、例年と異なる様式での開催となります。保護者の皆様には、後日詳細をお知らせいたします。〈お詫び〉新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内小・中学校では、ご来賓の招待を遠慮させていただくことにしました。

◆ いこいの森の「柿の実」をお譲りします

◎CSの干し柿作り体験中止に伴い、10月中旬以降、「渋柿」ですが、小分けにしてお譲りします。ご希望の方は、ご連絡ください(なくなり次第終了になります)。

◆この紙面の情報は、9月25日現在のものです。今後、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点等から更に変わる場合がありますのでご承知おきください。

★問い合わせ★ 男鹿市立脇本第一小学校
TEL 25-2215 FAX 22-2009 (教頭まで)

〈明治30年代〜〉「明治三五年私共入学当時の校舎は、脇本御礼町(高桑さん)にあり、二階建六教室程度の粗末なもので、設備も狭い校庭に運動具のプランコフ。唱歌の授業には手風琴を使用したものである。明治三八年日露戦捷記念に設備したオルガン(六円五十銭(*1))は、当時郡内小学校で逸品の称があった。師範学校出身で当校初代の女先生である筑和フミ先生(筑和村長の令嬢)が海老茶袴の和装で唱歌を教えると、部落民が窓外に群がり、オルガンの妙音を聞き驚異の目を見張ったものである。」(KYさん 明四三高卒、大正初期本校教員)八十年記念誌から(創立百周年記念誌に再掲) ※手風琴:アコーディオン

〈明治41(1908)年2月18日〉 火曜 晴 校舎竣工ヲ機トシ、午前九時半ヨリ學藝會ヲ開ク。伊藤校長開會ノ辞ニ始マリ、三十六番ノ児童ノ唱歌、談話ニ加ヘテ、樽澤小学校ヨリ十有餘番ノ飛入等アリ。何レモ拍手喝采ノ裡ニ結了ヲ告グ。時ニ正午。当日ハ舊曆十七日ニ当レルト及廣告其宜シキヲ得タル為メカ、役場員、村會議員等ノ来賓ヲ始メ、父兄ノ集マレルモノ約五百名。流石ニ廣キ體操場モ全ク立錐ノ餘地ナキニ至リシハ前古未聞ト稱セラル。午後一時ヨリ父兄懇話會ヲ開ク。是亦非常ノ盛會ナリキ。今左ニ懇話會ノ概況ヲセシニ、
一、開會ノ辞ニ引續キ教育ノ意義及小学校教育ノ目的 伊藤校長
二、談片 高山訓導
イ、教員ハ児童ニ對シ公平ナルモノナリ
ロ、女兒モ男児ト全ジク教育ノ必要ナルモノナレバ、進ンデ
 女兒ヲ入學セシメタラシ
ハ、父兄ハ學用品ニ注意セラレタシ
二、裁縫ニ就テ 千葉訓導
三、學校ト家庭トノ連絡 千葉訓導
四、ウエルシヤーストノ感應發電機及蓄電池ニ就イテノ 千葉訓導
 説明並ニ実験 ※ウイムズハースト式誘導起電機のことか? 伊藤校長
五、燃焼ノ実験及説明 伊藤校長
六、ブンゼン電池及酸素水素ヲ採ルノ実験及説明 伊藤校長
七、談片
イ、児童欠席ニ就テ
ロ、時々學校ニ出席シテ授業ノ有様ヲ參觀セラレタキコト
ハ、式日ニハ可成袴ヲ着用セシメラレタキコト
ニ、學用品ヲ供給セラレタキコト
ホ、下校後復習セシメラレタキコト
ヘ、公德ニ関スル事ハ特ニ注意セラルベキコト
ト、トラホームニ就テ ※トラコーマ(ドイツ語読み)こと。眼の感染症。
等ニシテ、閉會セシハ午後三時半ナリキ。(*1) (*6)

註)ウイムズハースト式誘導起電機・発明家ジェイムズ・ウイムズハーストが開発した誘導型の静電発電機。金属の付いた円盤の回転によって静電気を発生。2つのライデン瓶に電荷を溜めるコンデンサの役目。
註)ブンゼン電池…化学者ロベルト・ブンゼンが開発した亜鉛-炭素一次電池。(*6)

〈大正6(1917)年7月13日〉 午後一時ヨリ父兄懇話會ト學藝會トヲ開催セシニ、頗ル盛會ニテ、午後四時拍手裏ニ閉會ヲ告ゲタリ。(*1)

〈大正8(1919)年2月17日〉 午後一時ヨリ學藝會開催セシニ、来校者五百名。近來ノ盛會ニシテ児童ノ元氣意氣込、亦見ベルモノアリキ。(*1)

〈昭和25(1950)年10月17日〉 全国ラジオ音楽コンクール都市予選に出場し、第一位に入賞する。六年女有志三十名 指揮 下間君代 ピアノ伴奏 吉田千代江
〈昭和26(1951)年10月27日〉 全国ラジオ唱歌音楽コンクール都市予選に出場し、第一位に入賞。(*1) ※正しくは、全国唱歌ラジオコンクール
昭25年小学校課題曲「朝のうた」、昭26年「みんなで仲よく」、昭27年「祭りの宵」

註)全国唱歌ラジオコンクール・現 NHK全国学校音楽コンクール(Nコン)。第87回目の今年度はコロナ禍で中止>(*6)

〈戦後、昭和20年代〉 ◆「私は、昭和二十三年四月、戦後のまだ落ちつきのない時に入学しました。(略)学芸会が近づいてくると、各教室の教壇が体育館に運ばれ、ステージを広くするためにつまれました。踊っていても教壇と教壇のすき間が気になり、ついで下を向いて踊って先生に注意されました。(略)五、六年のころは、合唱コンクールに出るため、毎日の練習でした。」(ANさん(旧姓T) 昭二九卒、本校教諭) ◆「昭和二十五年〜二十七年までは、音楽にかけては秋田県内でも屈指の下間君代先生、吉田千代江先生の厳しい指導のもとに、児童約四十名は毎日放課後午後七時まで猛烈な発声の訓練を受けた。従って南秋、河辺ブロックの都市予選大会においては、決定的に脇本第一小が第一位、秋田県大会においても三位を下ったことはなかった。」(FKさん(旧姓I) 昭一六卒、本校教諭)(創立百周年記念誌から)

〈昭和49(1974)〜平成元(1989)年〉 学芸発表会
※但し、昭和59年は、体育館の建築のため取り止め。昭和60年は、学芸会の名称。
〈平成6(1994)〜令和元(2019)年〉 学習発表会 (*1)

◆わたしたちの学校は
令和2年7月15日に創立145周年を迎えました

《特集 故きを温ねて新しきを知る》

明治から平成の「学芸会」の変遷

明治・大正期には父兄懇話会も同日開催

明治41(1908)年の記録が最古で、前年の新校舎(現在地)竣工記念の学芸会でした。明治38年度(明治39年3月31日)に購入したオルガンの伴奏によって唱歌が歌われたことでしょうか。また、脇本小学校の演目数36と飛び入り参加の樽澤小学校の演目数10数余りは、令和元(2019)年の学習発表会の演目数10と比較すると非常に多くなっています。注目すべきは、学芸会と同日に開催された父兄懇話会です。「1890年代以降、学校と家庭との一致協力が必要であるという認識が教育関係者の間に形成され」開かれました(*2)。また、「学芸練習会、運動会、展覧会を兼ねて行われることも多く、ときには幻灯会や理化学実験、活動写真を含む娯楽と啓蒙の要素を含んだ内容で出席率の向上」が図られました(*3)。今の「保護者会や学校後援会をたどっていくと父兄懇話会に突き当たる」と言われます(*4)。

戦後の昭和20年代には、放課後に合唱コンクールに向けた活動が行われ、現在のNコン(NHK全国学校音楽コンクール)地区予選大会で活躍しました。

平成6(1994)年からは、名称を学習発表会と改め、これまで以上に日常の学習活動と深くリンクさせた複数の教科等の合科的・総合的な内容の学習発表の場として位置付けられています。

★〈大正末期から昭和初期(昭和20年頃)の記録について〉

これまでの特集の中でも、この時期の沿革史の記録が見あたりませんでした。「敗戦による軍事色払拭により、大正末期からの諸行事が沿革史から抹消されたらしく、この時代の記録が十分ではない」と、「創立百周年記念誌」には記されています。

【出典・参考文献】

- *1 脇本第一小学校『学校沿革史』
- *2 松田武雄『明治期東京における地域通俗教育の変遷と諸相』(『九州大学大学院教育学研究紀要 4』P63~82)(2002.3.25)
- *3 有本真紀『日本近代における〈家庭の学校化〉(I):家庭の管理装置としての学校教育:明治期・大正期における「学校と家庭との連絡」』(『教大学教育学科研究年報 57』P5~26)(2014.3.24)
- *4 男鹿市史編集委員会『男鹿市史上巻』(1995.3.31)
- *5 NHK全国学校音楽コンクール公式サイト
- *6 フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

◆ご家族、地域の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、健康には十分留意なされ、どうぞご自愛ください。

